

**「ふたたび被爆者を
つぐらない」運動の
経験を継承します**



被爆二世プラスの会長
川去裕子

新年あけましておめでと
うございます。

昨年はロシアのウクライナ
への侵攻、イスラエルのガザ攻
撃と世界の平和についてもこ
ころざわめく日々でした。また、
新年早々大きな地震が発生し、
被災された方々の生活を思い、
原発の安全性もあらためて考
えなければならぬともう一
度考え直しました。

一方、核兵器禁止条約が発効
してから2年がすぎ、署名国が
93 か国、批准国が 69 か国にな
りました。被爆国日本でサミッ
トを行うことの重要性を表明
していた岸田首相は核抑止論
に終始し、核兵器禁止条約締約
国会議へのオブザーバー参加
もしないままでした。核抑止論
では核兵器廃絶ができないこ

ともあきらかになつていると
思います。

世界中に被爆の実相をつた
え核兵器廃絶の大きな力にな
つてきたヒバクシャの「ふたた
び被爆者をつぐらない」運動に
あらためて敬意を表します。

被爆二世プラスの会北海道
でも経験を引き継いでいきま
す。微力ですが「ふたたび被爆
者をつぐらない」世界の実現の
ために皆様のご協力もお願い
いたします。

**開館初日ー
三組の見学者が来館**

会館は新年 1 月 9 日からオ



ープリンしました。この日は被爆
者二人が当番、機関紙『被団協』
新聞の発送の準備に取り組み
ました。

そこに大村さんが新年の顔
見世に。それに合わせるかのよ
うに 3 組もの見学者がやって
きました。

1 組目は、お母さんと中 1 の
兄、小 4 の妹の三大家族。
妹さんは歴史に大変興味があ
り、ぜひ資料館に行きたいと言
つて来たそうです。大村さんの
話をメモに取り、帰ったら学校
の先生に報告をしますと語っ
ていました。

2 組目は先日 40 名も参加し
て学習会をした北教組恵庭支
部の先生。息子さんと来られ、

いろいろ話して行かれました。
ご本人は被爆三世とのこと、こ
れからは私たちが語り伝えな
ければとおっしゃっていました。

3 組目は札幌聾学校の先生
と聾者の方。大村さんの被爆体
験を先生が一生懸命手話で伝
えています。パネルなどから原
爆の怖さを感じ繰り返しては
いけないと思ったのではない
でしょうか。

初日に何組もの見学者が来
るのは今まであまりなかった
ことです。冬休みであることに
加え、昨今の情勢を見て、ヒバ
クシャ会館に行つて被爆者の
話を聞いてみようと考えたの
だと思えます。



**引き続きご協力を
よろしくお願いします！**

昨年末に絵本 DVD の作成など今年度の事業遂行の
ための 100 万円募金を呼びかけたところ、さっそく
多くの方々から暖かいご協力をいただいております。
1 月 9 日現在、目標額の約 3 分の 1 を達成しました。
引き続きよろしくお願い致します。

**今年度の事業遂行のために、
100 万円の募金を呼びかけます！**

募金目標額 100 万円

募集期間 2024 年 2 月末日〆切

(昨年末呼びかけさせていただいたものです。ご不明な点
等ございましたらご連絡下さい。011-866-9545